

## 公的年金の運用改革について

米澤康博（早稲田大学）

ほぼ1年前より年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の基本ポートフォリオが大きく変更された。内外の株式保有比率がそれまでの24%から50%に倍増した。また本年10月より共済系年金のポートフォリオも一元化によってGPIFと同じとなり、これらを合わせた公的年金の運用は大きく変わった。さらに、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の上場に伴い、国債を中心とした運用から脱皮を図っている。さらに日銀も金融政策の一環として株式ETFを積極的に購入している。これら公的、準公的部門の運用の変革は証券市場、とりわけ株式市場にいかなる影響を与えるであろうか。以下の側面から議論したいと思う。

- ・ 株価に与える影響
- ・ 資産運用業者に与える影響
- ・ 企業ガバナンス、および企業ROE等に与える影響
- ・ 官製市場の問題点